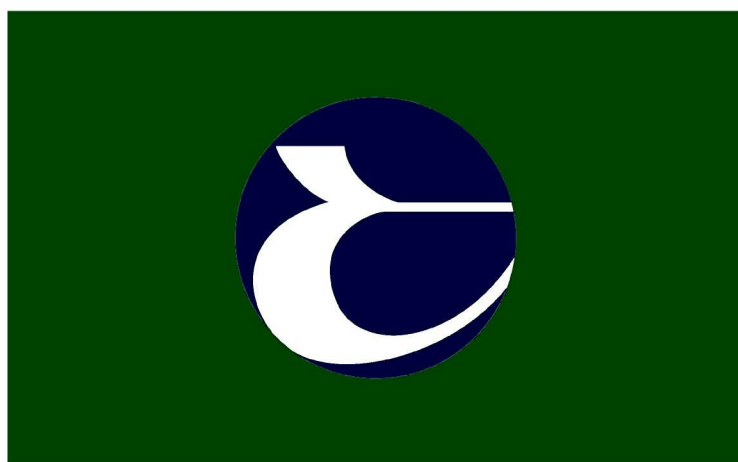


令和6年度

当別町の教育



当別町教育委員会

当別町民憲章

昭和45年5月制定

前章

私たちは、北海道開拓の歴史に、不朽の功業をしるした当別の町民です。

開基100年にあたり、不朽の開拓精神によって築きあげた祖先の偉業をうけつぎ、万心一致未来の躍進をねがって、この憲章を定めます。

1章

自然を愛し 美しく健康なまちをつくります

2章

力をあわせて産業をおこし 豊かなまちをつくります

3章

きまりを守り 明るく住みよいまちをつくります

4章

教養をつみ かおり高い文化のまちをつくります

5章

未来を担うたくましい子を育て 力のあるまちをつくります



当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

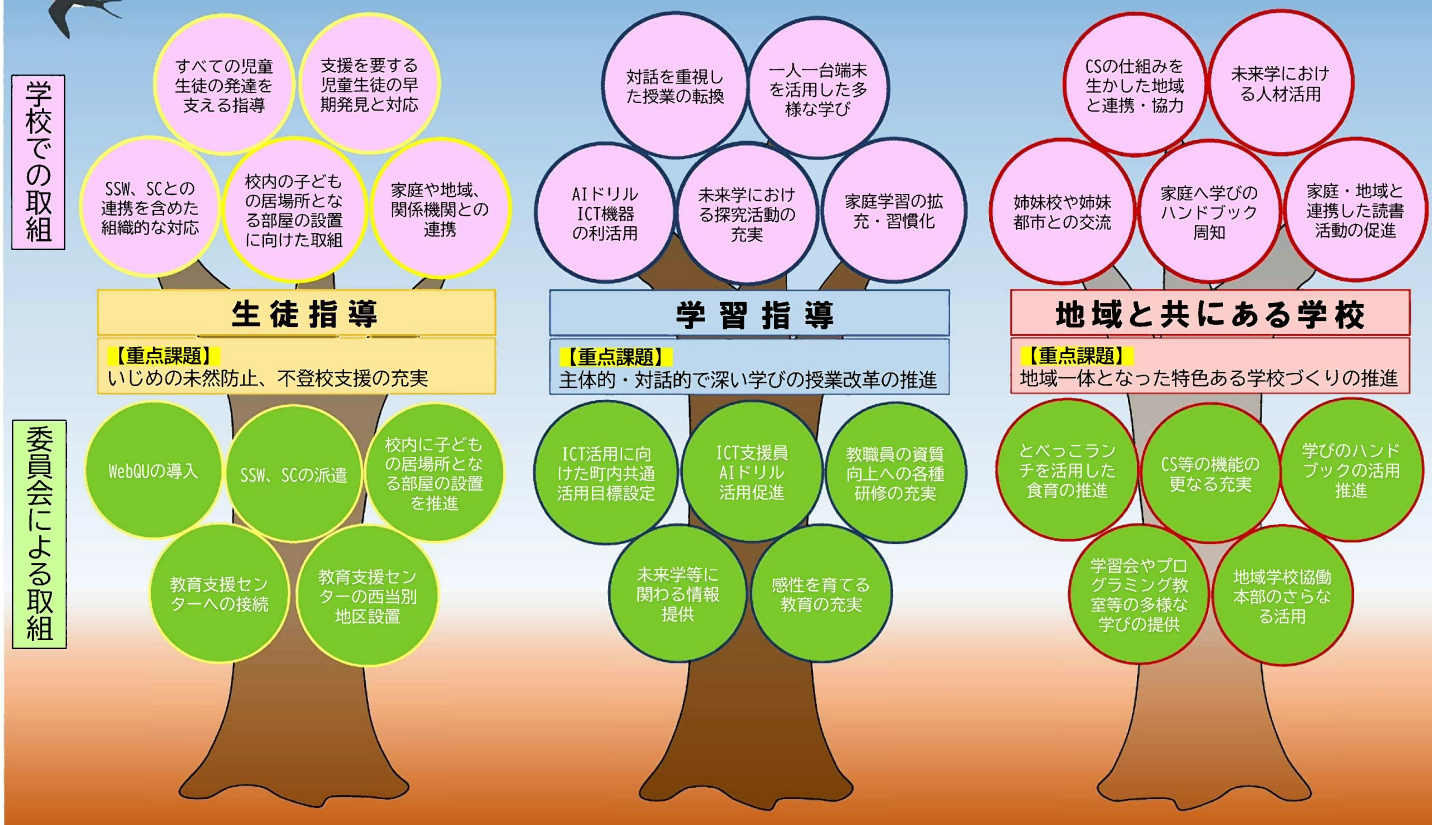
自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

[昭和31年制定]



令和6年度 重点目標 「授業改革055」 学力向上と学びの保障

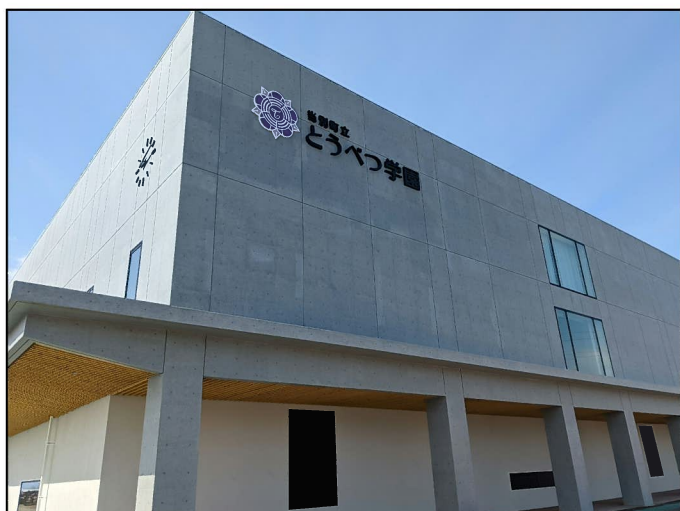


令和6年度 重点目標 「授業改革055」 学力向上と学びの保障

	学習指導	生徒指導	地域と共にある学校
重点課題	主体的・対話的で深い学びの授業改革の推進	いじめの未然防止、不登校支援の充実	地域一体となった特色ある学校づくりの推進
学 校	☐ 対話を重視した授業への転換 ☐ 一人一台端末を活用した多様な学び ☐ AIドリル、ICT機器の利活用 ☐ 未来学における探究活動の充実 ☐ 家庭学習の拡充・習慣化	☐ すべての児童生徒の発達を支える指導 ☐ 支援を要する児童生徒の早期発見と対応 ☐ SSW、SCとの連携を含めた組織的な対応 ☐ 校内の子どもの居場所となる部屋の設置に向けた取組 ☐ 家庭や地域、関係機関との連携	☐ CSの仕組みを生かした地域と連携・協力 ☐ 未来学における人材活用 ☐ 姉妹校や姉妹都市との交流 ☐ 家庭へ学びのハンドブック周知 ☐ 家庭・地域と連携した読書活動の促進
委員会	☐ ICT活用に向けた町内共通活用目標設定 ☐ ICT支援員、AIドリル活用促進 ☐ 教職員の資質向上への各種研修の充実 ☐ 未来学に関わる情報提供 ☐ 感性を育てる教育の充実	☐ WebQUの導入 ☐ SSW、SCの派遣 ☐ 校内に子どもの居場所となる部屋の設置を推進 ☐ 教育支援センターへの接続 ☐ 教育支援センターの西当別地区設置	☐ とべっこランチを活用した食育の推進 ☐ CS等の機能の更なる充実 ☐ 学びのハンドブックの活用推進 ☐ 学習会やプログラミング教室等の多様な学びの提供 ☐ 地域学校協働本部の更なる活用



とうべつ学園



※学校概況は12ページ

西当別小学校



※学校概況は14ページ

西当別中学校



※学校概況は16ページ

社会教育施設



当別町総合体育館



白樺コミュニティセンター



西当別コミュニティセンター



(左) 当別伊達記念館
(右) 伊達邸別館



世紀会館



当別町図書館

※施設の詳細は25ページ

特色ある取り組み



未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

学習指導



ICT活用の様子

ICTの利活用

児童生徒の学力向上を図ることを目的として、個別最適な学びへの転換を図るため、学校におけるICT環境の整備及びICTの活用促進に取り組んでいます。令和5年度は、全学校への電子黒板設置、AIドリル「ミライシード」の導入、全学校へのICT支援員の配置を行いました。



(左) 田植え体験授業
(右) スウェーデン交流センター訪問授業

とうべつ未来学

町独自で実施している教科等横断的な学習です。「ふるさと教育」「国際理解教育」「キャリア教育」の3本の柱からなり、生活科、総合的な学習、外国語、社会などの時間で実施しています。

ふるさと当別を知り、当別の未来について考え、国際感覚を身につけ、自分の人生をデザインする力や様々な方法で発信する力を育てることを目指しています。

教職員研修

教職員の資質向上を目的として、長期休業中に、最新の教育課題をテーマとした研修会を開催しています。



教職員研修の様子

取組 (R5)	研修テーマ (R5)
夏季研修会 (7.27~31)	支援が必要なケースへの対応、 体育の実技指導、町の歴史、 AIドリルの活用
冬季研修会 (12.27)	ICTを活用した働き方改革、 外国人児童生徒対応

特色ある取り組み



未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

生徒指導



レインボールーム

教育支援センター 校内教育支援センター

「教育支援センター」は、学校への登校が難しい児童生徒に対して、安心できる居場所を提供し、学習や活動、相談を通じて、社会的な自立を目指す場所です。児童・生徒個人のペースに合わせて来所し、学校から出たプリントなどによる個別学習や、スポーツやゲーム、制作活動などの集団活動を行っています。令和6年度から、従来の当別地区に加えて、西当別地区にも新たに開設しました。また、各学校でも、児童生徒が、自分のペースで過ごすことができる場所として、校内に「校内教育支援センター」を設置しています。

◎教育支援センターについて

名称	所在	開設日
レインボールーム	白樺コミュニティセンター	月～金
つなぐとルーム	西当別コミュニティセンター	月・火 木・金



校内教育支援センター「からふる」
(とうべつ学園)

詳しくはこちらから→



スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー

「スクールカウンセラー」は、学習や家庭の問題等の不安や困り感のある児童生徒などへのカウンセリングを行うため、各学校に配置しています。

「スクールソーシャルワーカー」は、環境への働きかけや、関係機関等とのネットワークの活用などにより、児童生徒が抱える問題を解決するため、令和5年度より1名配置しています。（令和6年度は調整中）



カウンセリング室
(とうべつ学園)

特色ある取り組み



未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

地域とともにある学校



とべっこランチ
(卒業お祝いメニュー)

食育の推進

令和5年度から、当別町にゆかりのある食材や旬の食材を紹介する特別給食「とべっこランチ」を月1回提供しています。「とべっこランチ」のメニューには、児童生徒のアイディアも取り入れています。

◎令和5年度の「とべっこランチ」
町産の豚肉を使用した手作りハンバーグ
スウェーデン料理「フィスクソッパ」
町内菓子店提供のデザート
卒業お祝いメニュー など



(左) プログラミング教室
(右) 土曜教室

多様な学びの提供

新しいデジタル社会に対応する人材を育成するため、児童生徒向けのプログラミング教室を開催しています。また、地域学校協働本部事業の一環として「土曜教室」を開催し、様々な体験活動や郷土学習を行っています。

◎令和5年度の「土曜教室」
町内巡検、考古学教室、ふるさと環境学習、百人一首教室 など



姉妹校提携締結式の様子

姉妹校・姉妹都市交流

当別町は、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公が開拓した町です。その縁で、仙台藩岩出山があった宮城県大崎市（旧岩出山町）と姉妹都市提携を結んでいます。令和5年6月24日に、友好関係をさらに発展させていくため、当別町の3校（とうべつ学園・西当別小学校・西当別中学校）と、大崎市の2校（岩出山小学校・岩出山中学校）で、姉妹校提携協定が結ばれました。

令和6年度の教育 目次

【 巻 頭 】

- 1 当別町民憲章・当別町教育目標
- 2 教育推進計画
- 3 町立学校
- 4 社会教育施設
- 5 特色ある教育

【 教育大綱・小中一貫教育 】

- 1 教育大綱 1
- 2 小中一貫教育 3

【 教 育 計 画 ・ 予 算 】

- 1 学力向上プラン 5
- 2 体力向上プラン 6
- 3 コミュニティ・スクール(CS) 7
- 4 教育予算 8

【 学 校 教 育 】

- 1 重点目標 11
- 2 現況
 - (1) 学級数及び児童生徒・教職員数 11
 - (2) 学校概況
 - ① とうべつ学園 12
 - ② 西当別小学校 14
 - ③ 西当別中学校 16
- 3 学校給食 18
- 4 保護者支援制度
 - (1) 就学援助 19
 - (2) 特別支援教育就学奨励費 20
 - (3) 特別支援学級等通学援助費 20

【 社 会 教 育 】

- 1 重点目標 21
- 2 事業
 - (1) 生涯学習推進事業 21
 - (2) 読書活動推進事業 22
 - (3) 生涯スポーツ推進事業 23
- 3 学校教育との連携事業 24
- 4 社会教育施設
 - (1) コミュニティーセンター・文化施設等 25
 - (2) 体育施設 26

【 教育委員会 】

- 1 教育委員会
 - (1) 教育長及び教育委員 27
 - (2) 令和5年度活動予定 28

【 資 料 】

- 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務 29
- 2 教育委員会事務局 職員一覧 30
- 3 教育委員会の附属機関等 31
 - (1) 当別町教育支援委員会
 - (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織
 - (3) 当別町いじめ問題調査委員会
 - (4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師
 - (5) 当別町学校給食センター運営委員会
 - (6) 当別町学校運営協議会
 - (7) 当別町文化財調査審議会
 - (8) 当別町社会教育委員会
 - (9) 当別町地域学校協働本部運営委員会
 - (10) 当別町子ども読書活動推進委員会
 - (11) 当別町スポーツ推進委員
 - (12) 当別町少年指導センター

4	教育関係各種団体	36
(1)	当別町文化協会 加盟団体	
(2)	当別町スポーツ協会 加盟団体	
(3)	当別町子ども会育成連合会 加盟団体	
(4)	当別町女性団体連絡協議会 加盟団体	
5	指定文化財一覧	38
6	教育の沿革	39
7	統計データ	45
(1)	小中学校施設の概況	
(2)	児童生徒数の推移	
(3)	各学校統合年の一覧	
(4)	就学援助の状況	
(5)	特別支援教育就学奨励費の状況	
(6)	特別支援学級等通学援助費の状況	
(7)	社会教育施設利用状況	

※本冊子における用語は、次のとおりとする。

小学校・・・義務教育学校の前期課程（１～６年生）を含む。

中学校・・・義務教育学校の後期課程（７～９年生）を含む。

小学生・・・義務教育学校の前期課程（１～６年生）に通う児童を含む。

中学生・・・義務教育学校の後期課程（７～９年生）に通う生徒を含む。

小学１～６年生・・・義務教育学校の前期課程（１～６年生）を含む。

中学１～３年生・・・義務教育学校の後期課程（７～９年生）を含む。

教 育 大 綱

小 中 一 貫 教 育

1	教 育 大 綱	P 1
2	小 中 一 貫 教 育	P 3

➤ 1 教育大綱

【期 間】

原則として、令和2年4月から令和7年3月までの5年間とする。なお、この期間内において大綱を見直す必要が生じた場合は、総合教育会議において協議する。

【関連計画】

当別町第6次総合計画（令和2年4月から概ね10年間）



教育大綱（令和2年4月から令和7年3月まで）



当別町教育基本計画（令和2年4月から令和7年3月まで）



各年度の推進計画

【基本理念】

1 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人」の育成

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかりと身につけさせ、それらをもとに思考力、判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り拓いていける力をつける教育を実践する。

2 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

すべての町民が「住んでよかった町 当別」を実感できるよう、学習・文化活動・スポーツに親しむことのできる環境づくりを行う。

【基本方針】

学校教育

義務教育学校及び併設型を基軸とした9年間の切れ目のない一貫教育を実践する。それにより徹底した基礎学力の定着、自らの夢や目標を自らの手で切り拓いていける力、世界で活躍するためのツールとしての英語力、強い心と体など、世界に通用する人となるための確固たる基礎を作る。

また、その学びは「連続性のある多様な学び」であり、特別な支援を要する子どもたちも共に成長する教育である。

1 確かな学力

主体的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。

2 豊かな人間性（心）

自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にする心を、全教育活動を通じて育成する。

3 健全な心身

自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。

4 地域と共にある学校

地域の人材を教育に取り込みながら、地域の活性化につながる教育活動を実践する。

5 教育環境の整備

義務教育学校設立をはじめ、ICTなど教育環境の整備を図る。

子ども未来

※令和6年度より、子育て支援に関する業務は、町長部局（福祉部）に移管されました。

子どもの健やかな成長のため、保護者や地域と一体となった施策を行う。また、幼児教育と義務教育の接続の充実を図り一貫教育につなげる。

1 子育て支援

子育て世代の交流促進など、子育てしやすい環境の充実を図る。

2 子どもの安全・安心な環境づくり

放課後児童健全育成事業の活動内容や保育サービスの多様化を図る。

3 認定こども園との連携

教育課程編成・実施への助言や支援を図る。

4 幼児教育と小学校との接続

就学に向けた接続プログラムの充実を図る。

5 子ども発達支援センター機能

多様なニーズに対応した支援プログラムの充実を図る。

社会教育

子どもたちをはじめ、すべての町民が幸せを感じることのできる生涯学習を実践する。また、入植以来 150 年の中で培ってきた当別町の文化や歴史を通じて、ふるさとを愛する心を育む。

1 魅力ある学習プログラム

ライフステージに応じた新たなプログラムを開発する。

2 文化・芸術・スポーツ

超少子・高齢化社会に対応した文化・芸術・スポーツを展開する。

3 歴史・文化財産の保存と活用

当別開拓の歴史を後世に伝え、新しい時代に生かす活動を展開する。

4 児童・生徒・家庭に対する支援

地域の教育力を活用した学習支援や多様な体験活動の充実を図る。

5 図書館機能の向上

読書活動活性化のための多様なサービスを実践する。

➤ 2 小中一貫教育

「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」（平成 27 年 3 月制定）

小 中 一 貫 教 育 の 目 的

- 「発達段階を考慮し、義務教育 9 年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育 9 年間で児童生徒を育てる」という考えのもと、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる。
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの 9 年間の学びを支えるまちづくりを実践する。

小 中 一 貫 教 育 で め ざ す 方 向 性

めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

めざす児童生徒像

- 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切に出来る子ども～
- 健全な心身 ～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- コミュニケーション能力 ～自分の考えや思いを伝え、また聞くことで、積極的に人間関係を築く力を持つ子ども～
- プレゼンテーション能力 ～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- 当別が好きな子ども

めざす学校像

- 上位の学校へのスムーズな移行や、「ずれ」や「逆転」のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- 地域や保護者の思いが生かされ、共に歩める学校
- 魅力が体感できる教育環境のもと、先進的な取組を進める学校

めざす地域像

- 学校がまちづくりの核である地域
- 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

平成 29 年度～
町内すべての学校で「併設型」小中一貫教育を開始

令和 3 年 4 月
当別町一貫教育推進委員会設置

令和 4 年度
一体型義務教育学校「とうべつ学園」開校（当別小学校及び当別中学校統合）

教育計画・予算

1	学力向上プラン	P 5
2	体力向上プラン	P 6
3	コミュニティ・スクール（C S）	P 7
4	教育予算	P 8



●当別町の学力の状況（令和5年度「全国学力・学習状況調査」平均正答率）

	国語	算数／数学	英語 (聞くこと・読むこと・書くこと)	英語 (話すこと)
小学校	71.2% (全国平均以上)	63.6% (全国平均以上)		
中学校	69.7%	48.8%	47.2% (全国平均以上)	18.0% (全国平均以上)

成果

- 小学校全教科、中学校2教科で全国平均以上
- 児童生徒間の学力差の縮小
- 家庭学習習慣の定着
- 無解答率の減少
- 国語の授業改善

課題

- 記述式問題への継続した対応
- 規則正しい生活習慣の定着
- I C Tの日常的活用
- 支援が必要な「伸びしろ層0」への対応

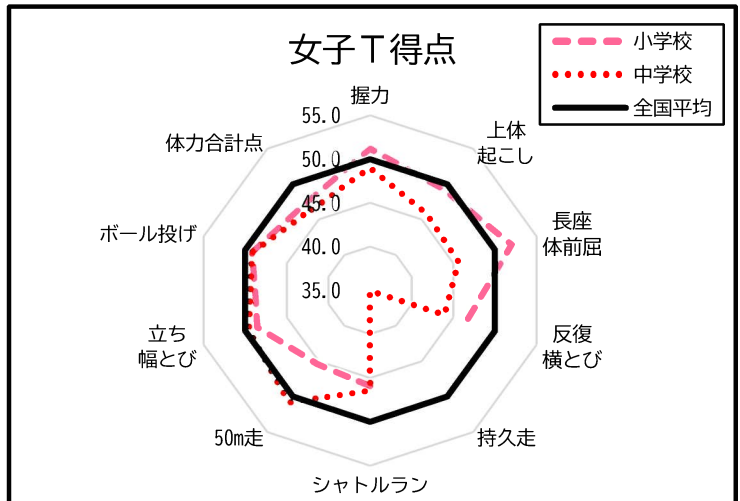
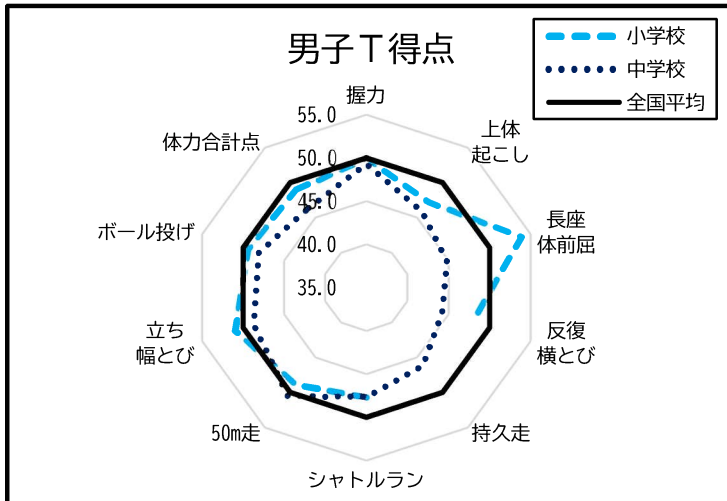
課題へのアプローチ

- 対話を重視した学びへの授業転換
- I C Tを活用した個別最適・協働的な学び
- 授業や家庭学習におけるA Iドリルの活用
- 「伸びしろ層0」に向けた学びの基盤固め
- 「学びのハンドブック」「家庭学習サポートブック」の活用した家庭学習支援

R6年度 目標 (当別町第6次 総合計画)

「全国学力・学習状況調査」全教科全国平均以上

●当別町の体力の状況（令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果）



成果

- 小学校男子・女子、中学校男子の体力合計点が、令和4年度を上回った
- 中学校で、体育授業におけるICTの活用が進んでいる
- 運動意欲が高い児童生徒が多い
- 体育授業以外で積極的に運動に取り組む小学生が多い

課題

- 授業改善をいっそう進める余地がある
(授業の狙いの明確化・振り返りの機会の定着など)
- 小学校で、体育授業におけるICTの活用が進んでいない
- 運動が苦手な児童生徒が多い
(体力の総合評価がD・Eの児童生徒が、全体の約40%)
- 運動習慣が定着していない児童生徒が多い
(1週間の運動時間(体育授業除く)が60分未満の児童生徒が、全体の約20%)
- 生活習慣に課題のある児童生徒が多い
(朝食を毎日食べていない児童生徒が、全体の約20%)
(平日のスクリーンタイムが5時間以上の児童生徒が、全体の約20%)

➡授業改善、運動習慣、生活習慣に課題

課題へのアプローチ

- 教職員向け研修機会の充実
- ICTを活用した授業改善の推進
- 生活習慣改善に向けた家庭への啓発
- 児童生徒向けスポーツ活動の継続実施
- 部活動・総合型地域スポーツクラブへの支援

R6年度目標
(当別町第6次
総合計画)

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」
体力T得点全国平均以上

R8年度
までの目標

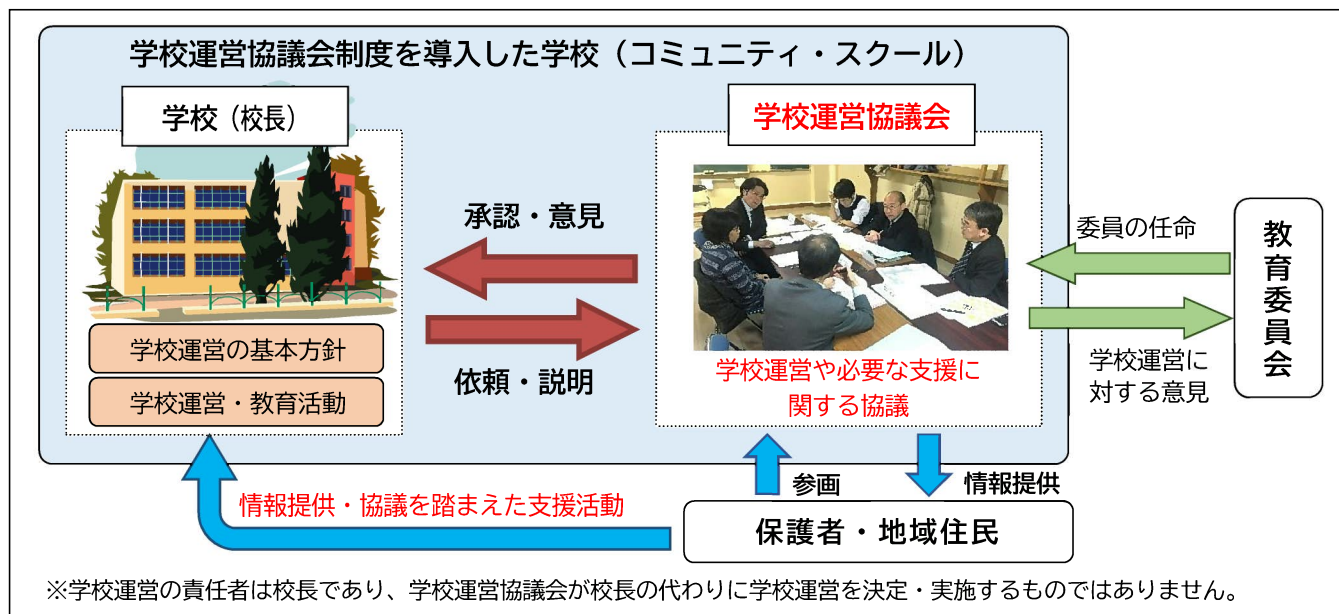
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」児童生徒質問紙調査結果

- 「運動やスポーツをすることが好き」 80%以上
- 「体育(保健体育)の授業は楽しい」 80%以上

➤ 3 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校＝学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育9年間の学びの充実のために

小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育9年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

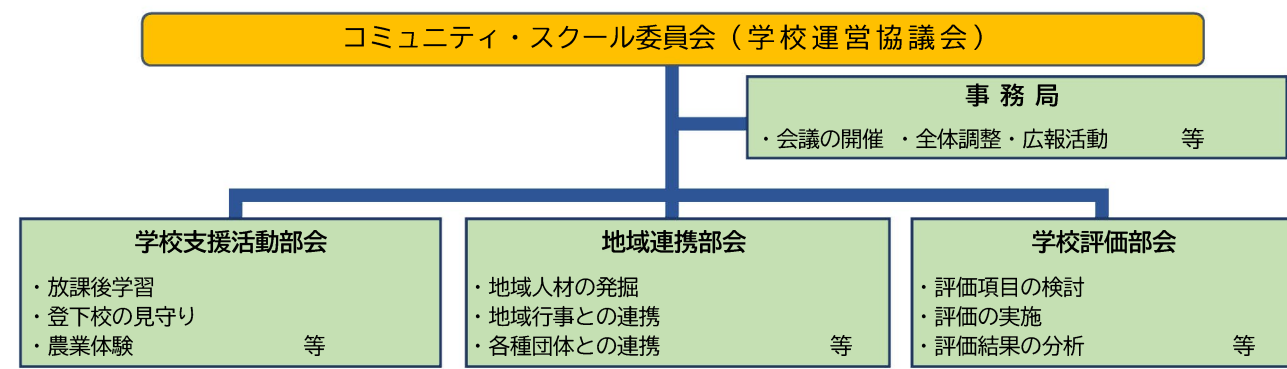
当別町では、平成29年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。
基本的な活動として、以下の3点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

基本的な活動

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

【委員数】令和6年5月1日現在
当別地区 11名
西当別地区 17名

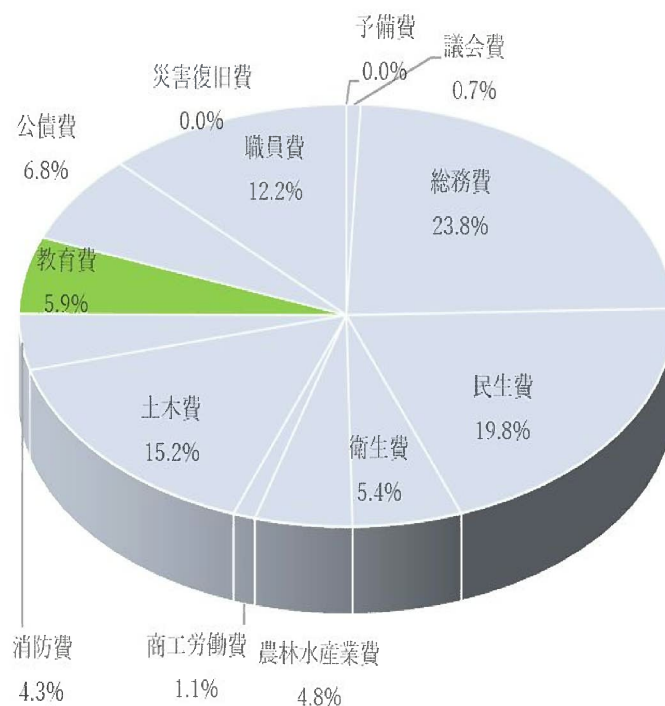
【コミュニティ・スクール組織図】



➤ 4 教育予算

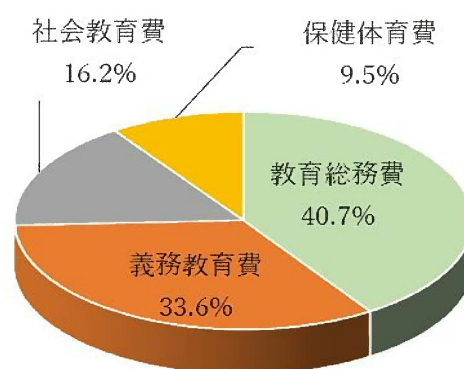
(1) 令和6年度 一般会計当初予算額

区分	金額（千円）	構成比（％）
議会費	89,649	0.7
総務費	2,991,502	23.8
民生費	2,481,720	19.8
衛生費	670,257	5.4
農林水産業費	599,973	4.8
商工労働費	138,397	1.1
土木費	1,905,886	15.2
消防費	542,363	4.3
教育費	734,987	5.9
災害復旧費	5	0.0
公債費	857,837	6.8
職員費	1,532,970	12.2
予備費	5,000	0.0
歳出合計	12,550,546	100.0



(2) 令和6年度 教育費当初予算額

区分	金額（千円）	構成比（％）
教育総務費	299,157	40.7
義務教育費	246,652	33.6
社会教育費	119,176	16.2
保健体育費	70,002	9.5
総額	734,987	100.0



(3) 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
令和 2 年度	12,148,438	17.5	1,340,830	162.0	11.0
令和 3 年度	15,070,094	24.0	2,918,145	117.6	19.4
令和 4 年度	13,567,556	▲10.0	1,512,424	▲48.2	11.1
令和 5 年度	13,404,221	▲1.2	955,657	▲36.8	7.1
令和 6 年度	12,550,546	▲6.4	734,987	▲23.1	5.9

※各年度当初予算額

(4) 主な事業

【学校教育課所管】

適応指導教室事業（継続・拡充）（7,588 千円）

不登校の未然防止と不登校児童生徒の社会的自立に向け、学習支援を行うため、西当別地区（西当別コミュニティセンター内）に新たに適応指導教室（教育支援センター）を開設する。

食育推進事業（継続）（2,020 千円）

学校給食を生きた食育の教材とし、地域や姉妹都市の食材・伝統的食文化、旬の食材を使用し「食」に関する正しい知識をつけ、子どもたちが食と共に学べるよう推進を図る。

デジタル教育推進事業（継続）（9,320 千円）

個別最適化された学びの実現に向け、「A Iドリル」の利用を継続するとともに、不登校・いじめ対策として、WEBアンケート式の心理テスト「WEBQU」を新たに導入し、引き続きICT支援員を配置して、教育現場におけるデジタルツールの活用を進める。

学校空調設備整備事業（継続）（11,600 千円）

熱中症予防及び教育環境向上を図るため、とうべつ学園のエアコン整備に向けて実施設計を行う。

【社会教育課所管】

文化公演事業（新規）（1,200 千円）

多くの町民が、音楽、演劇等の本格的な舞台芸術に触れる機会の充実を図ることにより、文化振興による豊かなまちづくりを進める。

西当別コミュニティセンター改修工事（新規）（46,500 千円）

安心安全に利用できる公共施設維持管理のため、老朽化した西当別コミュニティセンターの屋上防水改修を実施する。

学 校 教 育

1	重 点 目 標	P11
2	現 況	
(1)	学級数及び児童生徒・教職員数	P11
(2)	学 校 概 況	
①	とうべつ学園	P12
②	西当別小学校	P14
③	西当別中学校	P16
3	学 校 給 食	P18
4	保護者支援制度	P19

➤ 1 重点目標

小中一貫教育6年目、新たなステージへ

～併設型、一体型それぞれの小中一貫教育推進～

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 現況

(1) 学級数及び児童生徒・教職員数

令和6年5月1日現在

区分 学校名		学級数		児童生徒数（人）								教職員数（人）					
		普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭
1	西当別小学校	8	3	35	31	47	37	26	27	9	212	1	1	16	1	1	
2	西当別中学校	5	2	46	37	49				5	137	1	1	15	1	1	
3	とうべつ学園 （前期課程）	12	4	40	45	44	42	45	49	12	277		1	25	1	1	1
	とうべつ学園 （後期課程）	6	3	44	46	53				6	149	1	1	16	1	1	
合 計		31	12							32	775	3	4	72	4	4	1

※加配事業による教職員の配置（上記教職員数の内数）

加 配 事 業 名	西当別小学校	西当別中学校	とうべつ学園（前期課程）	とうべつ学園（後期課程）	合 計
指導方法工夫改善	1	1			2
通 級 指 導			4	1	5
主 幹 教 諭	0.5	0.5			1
専科指導（小中一貫）		1		2	3
日 本 語 指 導			2		2
事 務 職 員		1			1
合 計	1.5	3.5	6	3	14

(2) 学校概況

とうべつ学園（義務教育学校）	
校章・所在地	 【校章の意味】 中心の花は「亜麻の花」を表現。とうべつ学園の「と」を「T」にも見えるようにデザインし、当別の「当」の字で丸く囲むよう配置。「知」「徳」「体」「絆」「夢」を星に込め、学問の象徴でもあるペンで表現。 〒061-0205 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760
校歌	作詞 西下 航平 作曲 高木 慶太 一 曙光に照らさるる当別に 真空色付く亜麻の花 白樺戦ぎて風涼やかに 平野を臨みて深めよ心 二 黄金に覆わるる石狩野 紫雲にけぐる阿蘇の山 紅葉と交わりて色鮮やかに 自然を仰ぎて忘るな故郷 三 歴史に刻まるる開拓の 心受け継ぎ身を立てり 川辺を伝いて道賑やかに 一つに集いて学べよ我ら 四 雲雀東風吹かるるかすみ草 梟飛び立つ影白く 希望を歌いて身を健やかに 未来を拓きて愛せよ故郷
沿革の概要	【母 体】当別小学校及び当別中学校の統合 平成30年 基本構想策定 令和 元年 開校準備委員会・教育課程編成委員会設置 2年 校名決定 実施設計策定 校舎建設工事（～令和4年2月） 校章制定 3年 校歌制定 4年 とうべつ学園開校
教育目標	夢と志を持ち 希望に満ちた未来を拓く子どもの育成 ◇ 高い志と確かな学力をはぐくむ （知） ◇ 思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ （徳） ◇ たくましい身体と心をはぐくむ （体）
経営の重点	1 信頼と調和のある学校づくりの推進 2 児童生徒の自己実現を図る教育の推進 3 必要となる資質・能力を確実に育む教育の推進 4 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 5 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 6 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進 7 家庭・地域と連携し、地域と共に児童生徒を育む教育の推進
研究主題	《 研 究 主 題 》 「主体的に深く考える児童生徒の育成」～ 義務教育9年間を見通した授業の工夫 ～

特色ある教育活動

1 系統性・連続性を踏まえた生活・学習指導

・教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実を図る。

・校務分掌に支援教育部を設置し、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。

2 日常的な異学年交流活動

・日常的な縦割り班活動、地域や異校種との交流を通じて、豊かな人間性や社会性を培う。

3 4・5・6年生における一部教科担任制

・専門的な教科指導の充実による学力の向上を促す。

・多くの指導者のかかわりによる、きめ細かい指導と児童生徒の多面的な理解の促進を図る。

4 5年生からの児童生徒会活動の実施

・5年生から児童生徒会活動に参加し、協力して課題を解決し、自分たちの手でよりよい学校をつくろうとする自主的・実践的な態度を育てる。

5 5年生からの部活動の参加

・5年生から部活動に参加可能とし、スポーツや文化芸術等に親しもうとする態度を養う。

・後期課程での本格的な部活動開始に向けた基本的技能や基礎的体力の向上を図る。

6 英語教育の全学年実施

7 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施

学級編制

令和6年5月1日現在

(前期課程)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	12 <4>
男子	22 (2)	27 (2)	21 (0)	23 (1)	18 (2)	27 (2)	138 (9)
女子	18 (1)	18 (0)	23 (0)	19 (1)	27 (1)	22 (0)	126 (3)
合計	40 (3)	45 (2)	44 (0)	42 (2)	45 (3)	49 (2)	265 (12)

(後期課程)

学年	7年	8年	9年	合計
学級数	2	2	2	6 <3>
男子	18 (1)	22 (1)	23 (2)	63 (4)
女子	26 (1)	24 (0)	30 (1)	80 (2)
合計	44 (2)	46 (1)	53 (3)	143 (6)

基礎期（1～4年生）

「基礎基本の確実な習得」

充実期（5～7年生）

「目標の設定と自ら学ぶ態度の育成」

発展期（8・9年生）

「自分の人生をデザインする力の育成
～夢の実現へ～」

※（）～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。

< >～特別支援学級数で外数とする。

教職員

令和6年5月1日現在

校長 吉村 公孝

教頭（前期課程） 砂原 史朗

（後期課程） 桂川 淳

教職員数 主幹教諭1名 教諭40名 助教諭1名 養護教諭2名 栄養教諭1名
事務職員2名 時間講師1名 学力向上推進講師2名 特別支援教育支援員3名
特別支援学級介助員1名 事務嘱託員2名 学校管理人2名 学習指導員1名
外国人児童生徒支援員1名 スクールサポートスタッフ2名
ALT2名、スクールカウンセラー1名

西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776

北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地

電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

三
夕雲遠く しずまりて
阿蘇石山に あかねさす
われらはのぞみ もやしあい
育つよ育つ すこやかに
西当別の小学校

二
緑の原を つらぬきて
石狩川の 水清し
われらはともに 手を結び
進むよ進む ひとすじに
西当別の小学校

一
青き手稻の かがやけば
豊かなる野に 風かおる
われらはあした 集い来て
学ぶよ学ぶ さわやかに
西当別の小学校

作詞 坂本
作曲 津田
甫 亮

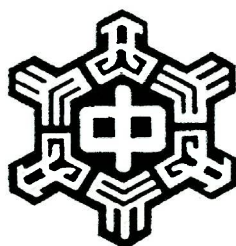
沿革の概要

昭和 26 年	獅子内小学校・太美小学校が合併して 西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定	平成 22 年	当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集) 当別町 140 年記念パレード見学、 記念式典参加 (5 年生)
27 年	西当別小学校校歌制定	23 年	大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付
32 年	校舎増築、屋内体育館完成	24 年	J R 電化祝賀式典参加
36 年	開校 10 周年記念式挙行	26 年	西当別地区プレイハウスが西当別 小学校内へ移転
46 年	開校 20 周年記念式挙行	27 年	電子黒板・書画カメラ設置
48 年	増築校舎完成 (理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)	28 年	一貫教育推進講師配置 (西当別中学校と兼務) JICA 研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)
50 年	北海道小中学校放送教育研究大会開催		レクサンド市教育委員会視察団訪問
56 年	開校 30 周年記念式・祝賀会	29 年	小中一貫教育開始 旧校舎屋根改修工事 西当別コミュニティスクール開始
57 年	新校舎完成 (普通教室 4・音楽室・理科室)	30 年	全国いじめ問題子どもサミット参加 授業改善推進チーム活用事業開始 体育館屋根改修工事 当教研学校課題研究発表会開催
58 年	新体育館落成式・祝賀会	令和 元年	体育館照明、トイレ、玄関改修工事
62 年	開校記念日指定・祝賀会	2 年	木質バイオマスボイラー設置工事 校内 LAN 設備改修、児童一人 1 台端末配置 石狩管内教育実践奨励表彰受賞
平成 元年	グラウンド改修工事		開校 70 周年記念品作成
3 年	高岡小学校を本校へ統合	3 年	中央玄関、東児童玄関および、1・2 階中央トイレ改修工事
6 年	増築校舎落成式・祝賀会	4 年	当教研学校課題研究発表会開催
7 年	プレハブ校舎 4 教室完成	5 年	屋上キュービクル、放送設備及び中央 玄関前花壇改修工事 電子黒板 (ビッグパッド) 配置
8 年	増築校舎完成式 (普通教室 8・音楽室・図工室) 学校給食開始		
9 年	「たんぼぼ学級」設置		
13 年	新学校教育目標制定 開校 50 周年記念式・祝賀会		
14 年	視聴覚室改修		
15 年	児童図書管理コンピューター化		
16 年	ハマナス 50 本植樹 (朝日新聞社より寄贈)		
18 年	文部科学省指定の「小中連携事業」 開始 (2 か年)		
19 年	国際理解教育開始 (ALT との学習) JICA 研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)		

教育目標	◇ 心ゆさぶる感性 〈心〉 ・ のびのび語り合う子 ◇ 学びを求める知性 〈学び〉 ・ ぐんぐん学び合う子 ◇ 生き方を磨く個性 〈生き方〉 ・ もりもりきたえ合う子 [平成13年3月改定]																																								
経営の重点	◆支持的風土の学年・学級づくり ◆体力の向上と健康安全教育 ◆確かな学力の向上を図る学習指導 ◆一人一人を大切にした特別支援教育 ◆豊かな心を育む生徒指導 ◆小中一貫教育・幼保小、地域保護者連携																																								
研究主題	≪ 重点指標 ≫ 「チーム西当小の協働による、主体的・対話的に学ぶ、意欲あふれる子どもの育成」 ≪ 研究主題 ≫ 「自他を大切にし、主体的に学び合う子どもの育成」																																								
特色ある教育活動	1 基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導 ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学力向上推進講師の活用（理科、英語） ・小中連携の専科講師の活用（体育） ・ＩＣＴ機器（クロームブック等）を活用した授業改善の推進 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） ・様々な教科や特別活動、総合的な学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 ＮＰＯと取り組む環境教育 ・ＮＰＯの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（５年生「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 ・全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあいタイム」 ・明るい挨拶が積極的にできるよう「あいさつ運動」を児童会が主体的に計画運営する ・「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展 ・保育所園児の学校体験会、１年生との交流活動 ・６年生の中学校登校、授業体験、部活動体験 ・小中合同クリーン作戦、小中合同いじめ撲滅集会など合同行事の開催 7 教科担任制の実施 8 英語教育の全学年実施 9 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施																																								
学級編制	令和6年5月1日現在 <table><tr><td>学年</td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>8 <3></td></tr><tr><td>男子</td><td>19 (1)</td><td>15 (2)</td><td>31 (1)</td><td>19 (1)</td><td>10 (3)</td><td>14 (1)</td><td>108 (9)</td></tr><tr><td>女子</td><td>16 (0)</td><td>16 (0)</td><td>16 (0)</td><td>18 (0)</td><td>16 (0)</td><td>13 (0)</td><td>95 (0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>35 (1)</td><td>31 (2)</td><td>47 (1)</td><td>37 (1)</td><td>26 (3)</td><td>27 (1)</td><td>203 (9)</td></tr></table> ※ ()～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < >～特別支援学級数で外数とする。	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	1	1	2	2	1	1	8 <3>	男子	19 (1)	15 (2)	31 (1)	19 (1)	10 (3)	14 (1)	108 (9)	女子	16 (0)	16 (0)	16 (0)	18 (0)	16 (0)	13 (0)	95 (0)	合計	35 (1)	31 (2)	47 (1)	37 (1)	26 (3)	27 (1)	203 (9)
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計																																		
学級数	1	1	2	2	1	1	8 <3>																																		
男子	19 (1)	15 (2)	31 (1)	19 (1)	10 (3)	14 (1)	108 (9)																																		
女子	16 (0)	16 (0)	16 (0)	18 (0)	16 (0)	13 (0)	95 (0)																																		
合計	35 (1)	31 (2)	47 (1)	37 (1)	26 (3)	27 (1)	203 (9)																																		
教職員	令和6年5月1日現在 校長 潟 沼 史 朗 教頭 瀬 野 裕 子 教職員数 主幹教諭1名 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 学力向上推進講師1名 時間講師1名 特別支援教育支援員3名 特別支援学級介助員1名 事務嘱託員1名 学校管理人1名 ＡＬＴ2名、スクールカウンセラー1名																																								

西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772

北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1

電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く
夕映えの 広まるほとり
厳かしく 立てる学び舎
西当別 われらのふるさと

二 緑なす 森の梢に
先人の 功徳ひつ
集い合う 若人われら
西当別 われらのふるさと

三 涼風は 垂穂にそよぎ
行く水は 広野つるほす
豊けしや みのりの里わ
西当別 われらのふるさと

四 大いなる 恵の朝
われら今 光を受けて
踏み分けん 真の長道
西当別 われらのふるさと

沿革の概要

昭和22年	獅子内小に併置開校	平成16年	全道ソフトボール大会3位
	当別町制施行町立に	17年	新教育目標設定
23年	校章制定、独立校舎落成	18年	全道ソフトボール大会3位
25年	高岡分校設置		18・19年度国立教育政策研究所委嘱事業 小中連携教育実践研究指定校
26年	旧校歌制定	19年	道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
31年	体育館落成	20年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
32年	開校10周年式典	21年	モンゴル国教育視察団訪問
38年	高岡分校独立	22年	E S D日米教員交流団来校
42年	開校20周年式典		体育館耐震改修工事
43年	高岡中学校統合	23年	当別町学校教育研究推進協議会学校研究発表会
46年	町プール校地に設置	25年	体育館大規模改修工事
49年	スクールバス運行		旧校舎給水管改修工事
51年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	26年	校務用生徒用パソコン更新
52年	開校30周年式典	27年	電子黒板・書画カメラ設置
54年	体育館落成	29年	小中一貫教育開始
56年	新校舎落成記念式典		開校70周年
57年	校舎落成記念植樹	30年	全国いじめ問題子どもサミット参加
	グラウンド完成	31年	部活動後援会設立
平成4年	学校週5日制開始	令和元年	町150年記念事業プレイベント参加
8年	学校給食完全実施、事務補配置	2年	新型コロナウイルスのため臨休(4/11~5/31)
	全国スキー大会回転優勝(個人)		木質チップボイラー工事
9年	開校50周年式典・スウェーデン訪問		校内LAN設備改修、生徒一人1台端末
11年	全道剣道大会3位(個人)	4年	拠点校方式部活動開始
12年	増築校舎完成		全日本吹奏楽コンクール予選参加
	町P連研究大会(本校PTA主管)		
13年	特殊学級設置・10学級編制		
14年	全道新体操準優勝(個人)		
15年	全道新体操優勝、準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、
◇ 高い知性 〈知〉
◇ 強い意志 〈徳〉
◇ 健やかな体 〈体〉
を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の方針と重点	<経営の方針> (1)〔確かな学力の向上〕 →生徒の進路選択・実現に向けた確かな学力の基礎を定着させ、更なる向上を図る。 (2)〔安全・安心・いじめ「0」〕 →生徒に寄り添い、安全に安心して学ぶ、積極的な認知によるいじめ「0」の学校づくり。 (3)〔合理的配慮〕 →生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導や支援を遂行する柔軟な対応と体制。 (4)〔社会に開かれた教育課程〕 →家庭・地域と共に学びを創る連携・協働した教育活動の推進。 (5)〔ONE TEAM〕 →教育者としての使命感と責務を自覚した効率的な協働組織体制による学校経営。 <教育推進の重点> 『生徒の良さと可能性を導く、やる気のスイッチ』 (1)自ら学ぶ主体性を導き共に学びを深める授業づくり (2)友達や仲間と共に高め合う協働性を培う学級づくり (3)より良く生きる公共心と自己有用感を育む教育活動																									
研究主題	≪ 研究 主 題 ≫ 『 伸びしろ層、中間層の学力向上 』 ～ 明確な課題設定と振り返りの工夫による個別最適化を目指して ～																									
特色ある教育活動	(1)小中一貫教育の推進 ①学びをつなぐ（9年間を見通した学びの連続性） ・学習の連続性（教育課程の編成：勉強を積み上げる計画） ・規律の連続性（学習、生活のきまり等、発達段階に応じて） など ②人をつなぐ（児童生徒・教職員の交流） ・体育専科授業（中→小：小4～小6） ・中学校登校（授業体験、部活動体験、中学校生活体験：小6） ・児童生徒交流（いじめ撲滅集会、合同道徳：小5～中3） (2)とうべつ未来学の推進 ○ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育の充実																									
学級編制	令和6年5月1日現在 <table><tr><td>学年</td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>5 <2></td></tr><tr><td>男子</td><td>21(1)</td><td>15(0)</td><td>24(0)</td><td>60 (1)</td></tr><tr><td>女子</td><td>22(2)</td><td>21(1)</td><td>24(1)</td><td>67 (4)</td></tr><tr><td>合計</td><td>43(3)</td><td>36(1)</td><td>48(1)</td><td>127 (5)</td></tr></table> ※ () ～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < > ～特別支援学級数で外数とする。	学年	1年	2年	3年	合計	学級数	2	1	2	5 <2>	男子	21(1)	15(0)	24(0)	60 (1)	女子	22(2)	21(1)	24(1)	67 (4)	合計	43(3)	36(1)	48(1)	127 (5)
学年	1年	2年	3年	合計																						
学級数	2	1	2	5 <2>																						
男子	21(1)	15(0)	24(0)	60 (1)																						
女子	22(2)	21(1)	24(1)	67 (4)																						
合計	43(3)	36(1)	48(1)	127 (5)																						
教職員	令和6年5月1日現在 校 長 森 聰 教 頭 吉 川 広 樹 教職員数 主幹教諭1名 教諭13名 養護教諭1名 事務職員2名 時間講師2名 学力向上推進講師2名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名 A L T 1名 スクールカウンセラー1名																									

➤ 3 学校給食

(1) 学校給食の役割

学校給食は、食育として栄養バランスのとれた食事の提供、正しい食習慣・食文化についての学び、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につけるなど大切な学びの場です。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ○ 栄養バランスのとれた豊かな学校給食 | ○ 望ましい食習慣を形成する学校給食 |
| ○ 人間関係を豊かにする学校給食 | ○ 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食 |

(2) 食育の推進（栄養教諭による授業・指導）

地場産食材を活用し、伝統食や季節の行事食を提供することにより、子供たちが地域を知り産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。

(3) 給食費（令和5年4月改定）

区分	実施回数（回）	一食単価（円）	年額（円）
小学校	1年	181	48,146
	2年	188	50,008
	3年	187	51,051
	4年	187	51,051
	5年	185	51,615
	6年	185・188	51,615・52,452
中学校	1年	189	64,071
	2年	184・186	62,376・63,054
	3年	179・180	60,681・61,020

(4) 学校給食センターの運営

①学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

《委員構成》教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 《委員任期》2年

②調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス（株）へ委託 《業務従事者》28名

(5) 施設概要

区 分	概 要
名 称	当別町学校給食センター
所 在 地	石狩郡当別町若葉 2224 番地
建 設 年 度	平成 7 年 5 月着工
開 設	平成 8 年 1 月（平成 7 年度 3 学期）
敷 地 面 積	3,625.00 m ² （1,096.56 坪）
建 物 面 積	1,098.12 m ² （332.18 坪）
構 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部 2 階建
調理場区分	共同調理場
厨 房 方 式	ドライシステム
調 理 能 力	最大 3,000 食／日
廃 水 処 理	回転円板方式
厨 芥 処 理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386 千円
実 施 状 況	1 日最大提供食数 858 食（令和 6 年 5 月現在）

➤ 4 保護者支援制度

(1) 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

≪内訳（令和6年度支給額）≫

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	57,060	63,000	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品
新入学児童生徒 学用品費等	1 年	57,060	63,000	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受給した場合は対象外
学用品費 (学) 通学用品費 (通) 校外活動費 (校)	1 年	(学) 11,630	(学) 22,730	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費並びに校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2 年	(学) 11,630 (通) 2,270 (校) 実費	(学) 22,730 (通) 2,270 (校) 実費	
	3 年			
	4 年			
	5 年			
	6 年			
体育実技用具費	スキー	26,500	38,030	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー用具） 小1・4年、中1年のみ
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費
PTA会費		実費	実費	PTA活動に要する費用として負担すべき経費
卒業アルバム代等		11,000	8,800	通常制作する卒業アルバム及び卒業記念写真等の購入費 小6年、中3年のみ
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿疱疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

(2) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

≪内訳（令和6年度上限額）≫

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	25,555	30,490
学用品・通学用品購入費		5,820	11,370
体育実技用具費 小1～3年、4～6年、中1～3年の 各期間に1回まで	スキー	13,255	19,015
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,845	3,105
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		800	1,155
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,790	28,860
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

(3) 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

社 会 教 育

1 重 点 目 標	P21
2 事 業	
(1) 生涯学習推進事業	P21
(2) 読書活動推進事業	P22
(3) 生涯スポーツ推進事業	P23
3 学校教育との連携事業	P24
4 社会教育施設	
(1) コミュニティーセンター・文化施設等	P25
(2) 体 育 施 設	P26

➤ 1 重点目標

- 1 生涯学習プログラムの充実
- 2 児童生徒支援の充実
- 3 読書活動の推進

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 事業

(1) 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
こ と ぶ き 大 学	5月～3月 (全21講座)	白樺コミセン ゆとろ等	60歳以上 の 町 民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
北 海 道 医 療 大 学 連 携 講 座	8月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
町民自主企画講座	4月～3月	白樺コミセン等	町民	町民自らが企画する講座の支援を行う。
当 別 町 文 化 祭	11月2日 ～11月4日	西当別コミセン	町民	多くの町民の自主的・創造的な発表の機会と、文化に親しむ場を創出する。
文 化 公 演 事 業	9月	町 内 施 設	町民	音楽、演劇等の本格的な舞台芸術に触れる機会の充実を図る。
歴 史 学 習 講 座	5月～3月 (年11回)	白 樺 コ ミ セ ン	町民	当別町の古文書の解読により、当別町開拓の歴史を学ぶ。
プログラミング教室	夏1回 冬1回	白 樺 コ ミ セ ン 西当別コミセン	小学生等	早い段階からプログラミング技術等を習得する機会を設け、論理的に物事を思考する力や創造性・問題解決能力の育成を図る

(2) 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
ブックスタート	10 ヶ月児 健 診 時	ゆ と ろ	10 ヶ月児 健 診 を 受 診 す る 親 子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	7 月	各 小 学 校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味・関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡 回 図 書	5月～3月	認定こども園 ゆ と ろ 各小・中学校 プレイハウス	幼 児 小学生 中学生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書館の新規購入図書を認定こども園、ゆとろ、各小中学校、プレイハウスへ巡回し貸し出しを行う。
図 書 修 繕	4月～3月 月 1 回	図 書 館	町民	ボランティアの協力により、破損した図書の修繕を行う。
学校図書館支援活動	毎 週 指 定 曜 日 ・ 時 間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書館の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
読 書 週 間	(春) 4月2日 ～ 5月31日 (秋) 10月1日 ～ 11月30日	図 書 館	町民	おすすめ本の展示会、古本市等を実施し、読書の楽しさと大切さを感じ、読書活動の推進を図る。
POPコンテスト	7 月 5 日 ～8月30日	図 書 館 白樺コミセン 西当別コミセン	幼児 小学生 中学生	本のPOPづくりをコンテスト形式で実施し、図書館への興味関心を高め、読書活動の推進を図る。

(3) 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学 校 開 放 事 業	4 月 1 日 ～3月 31 日	各小・中学校 体 育 館 グラウンド	町 民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4 月 ～ 3 月		小 学 生 中 学 生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
町民スポーツの日	4 月 ～ 3 月 毎月いずれか の 日 曜 日	総合体育館 西当別コミセン	町 民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、アリーナの無料開放を行う。
青 少 年 ス ポー ツ の 時 間	不 定 期 土 曜 日 9 時 ～ 12 時	総合体育館 西当別コミセン	町 内 の 小 ・ 中 ・ 高校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、アリーナの無料開放を行う。

➤ 3 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
土曜教室 (地域学校協働本部事業)	6月～3月 (年10回)	当別子ども プレイハウス 西当別子ども プレイハウス等	小学生	様々な体験活動や郷土学習、異年齢交流を通して学習する楽しさを伝える。
放課後学習会 (地域学校協働本部事業)	4月～3月	各小・中学校	小学生 中学生	学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
イングリッシュ・プロジェクト (地域学校協働本部事業)	7月～12月 (年7回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生 中学生 高校生 町民	様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、異文化の理解を図る。
当別町小中高大生 TOWN ミーティング	11月～12月	白樺コミセン	町内の 小・中・ 高校生、 北海道医 療大学生	町の課題に向き合うことにより社会の一員としての資質と自覚を高める。
少年の意見発表会	2月1日	ゆとろ	町内の 小・中・ 高校生	日常生活での体験や考えを自己の言葉で表現することにより社会参加意識の形成を図る。また、大人に対し少年への理解を深めてもらう機会とする。
学校部活動 地域移行 推進事業	5月～2月	中学校	中学生	学校の部活動の段階的な地域移行に向けて、検討を進める。

➤ 4 社会教育施設

(1) コミュニティーセンター・文化施設等

白樺コミュニティセンター

※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]

所在地	石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1	電話	0133-23-2511	FAX	0133-23-2516
開館時間	午前 9 時～午後 10 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
施設概要	多目的ホール、大研修室、小研修室、調理実習室、和室（3 室）、談話室				

西当別コミュニティセンター

所在地	石狩郡当別町太美町 22 番地 7	電話	0133-26-3300	FAX	0133-26-3600
開館時間	午前 9 時～午後 10 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
施設概要	アリーナ、図書館分館、大会議室、和室、研修室、会議室、調理室、更衣室、シャワー室				

当別町学習交流センター

所在地	石狩郡当別町錦町 1248 番地 7	電話・FAX	0133-23-0573
開館時間	午前 10 時～午後 5 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
施設概要	図書館、歴史資料室		

当別町図書館“ふくろう図書館”

所在地	当別町学習交流センター内	電話・FAX	0133-23-0573
開館時間	午前 10 時～午後 5 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
貸出期間	2 週間以内（1 人 10 冊まで）		

当別町図書館西当別分館

所在地	西当別コミュニティセンター内	電話	0133-26-3300	FAX	0133-26-3600
開館時間	午前 10 時～午後 9 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
貸出期間	2 週間以内（1 人 10 冊まで）				

世紀会館

所在地	石狩郡当別町園生 57 番地 8	電話	0133-23-2896
開館時間	午前 9 時～午後 10 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
施設概要	洋室、集会室、和室		

当別伊達記念館・伊達邸別館

施設概要	明治4年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の鍬が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治13年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。		
所在地	石狩郡当別町元町 105 番地	電話	0133-22-3735
開館時間	午前 10 時～午後 4 時 30 分		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、冬期間（11 月～4 月まで）		
料金	無料		

(2) 体育施設

①屋内施設

施設名	所在地・概要・問合せ先等
当別町総合体育館 ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]	所 在 地：石狩郡当別町白樺町 2792 番地 施設概要：アリーナ、ランニングコース、トレーニングルーム、 弓道場、格技室、更衣室、シャワー室 開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分 休 館 日：第 1・3 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 問合せ先：0133-22-3833

②屋外施設

施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	所 在 地：石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 施設概要：バックネット、フェンス、スコアボード、 ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	所 在 地：石狩郡当別町元町 1119 番地 1 施設概要：バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	所 在 地：石狩郡当別町元町 1119 番地 3（阿蘇公園内） 施設概要：土俵 1 面（屋根付き）、観覧席 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	所 在 地：石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 施設概要：全天候型コート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	所在地：石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 施設概要：クレーコート 4 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
とうべつ学園水泳プール ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]	所 在 地：石狩郡当別町元町 102 番地 施設概要：25m×6 コース、幼児・低学年用プール、 シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6 月～9 月（月曜日、8/15・16 は休館） 利用時間：10 時～12 時、13 時～20 時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	所 在 地：石狩郡当別町樺戸町 他（当別川河川緑地） 施設概要：全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（火曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	所 在 地：石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 施設概要：バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティセンター
あいあい公園パークゴルフ場	所 在 地：石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 施設概要：全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（月曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：西当別コミュニティセンター
遊遊公園テニスコート	所 在 地：石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 施設概要：オムニコート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティセンター

教育委員会

1 教育委員会

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 教育長及び教育委員 | P27 |
| (2) 令和6年度活動予定 | P28 |
-

➤ 1 教育委員会

(1) 教育長及び教育委員

【 教育長 】

令和6年5月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教 育 長	三 澤 吏佐子	令和 4年10月 1日就任 [1期]

【 教育委員 】

令和6年5月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
委 員 (教育長職務代理者)	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任 [4期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任 [3期]
委 員	佐々木 成 尉	平成29年11月 1日就任 [2期]
委 員	大 畑 理 恵	令和 5年12月15日就任 [1期]

【 歴代 教育長 】

歴 代	氏 名	就 任 期 間
初 代	山 田 勇	昭和27年11月 1日 ~ 昭和28年 1月 7日
2 代	高 橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ~ 昭和32年 2月14日
3 代	久 永 善 治	昭和32年 2月17日 ~ 昭和38年 3月31日
4 代	高 砂 正 清	昭和38年 4月 1日 ~ 昭和51年 6月10日
5 代	佐 藤 晴 之	昭和51年 6月21日 ~ 昭和61年 8月 5日
6 代	有 澤 槇 雄	昭和61年 8月13日 ~ 平成 9年 8月22日
7 代	藤 中 彰 二	平成 9年 8月25日 ~ 平成13年 9月30日
8 代	高 橋 義	平成13年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
9 代	山 内 秀 治	平成21年10月 1日 ~ 平成25年 9月30日
10代	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日 ~ 平成28年 9月30日
		平成28年10月 1日 ~ 令和 4年 9月30日
11代	三 澤 吏佐子	令和 4年10月 1日 ~ 現在

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

(2) 令和6年度活動予定

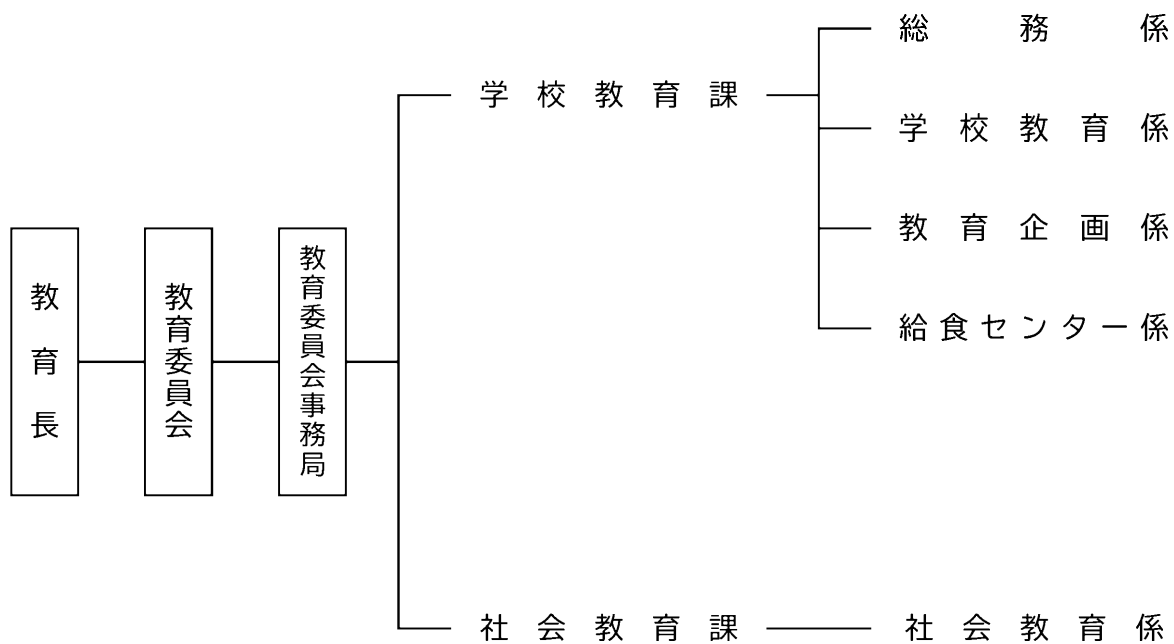
活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
令和6年 第5回定例会	令和 6年 4月24日	役場会議室	
第6回定例会	令和 6年 5月29日	役場会議室	
第7回定例会	令和 6年 6月26日	役場会議室	
北海道市町村教育委員会研修会	令和 6年 7月18日	札幌市	
第8回定例会	令和 6年 7月24日	役場会議室	
第9回定例会	令和 6年 8月28日	役場会議室	
第10回定例会	令和 6年 9月25日	役場会議室	
第11回定例会	令和 6年10月23日	役場会議室	
(石狩管内教育委員会委員研修会)	令和 6年 月 日	当別町	開催日未定
第12回定例会	令和 6年11月27日	役場会議室	
第13回定例会	令和 6年12月18日	役場会議室	
令和7年 第1回定例会	令和 7年 1月15日	役場会議室	
第2回定例会	令和 7年 2月26日	役場会議室	
第3回臨時会	令和 7年 3月 日	役場会議室	開催日未定
第4回定例会	令和 7年 3月26日	役場会議室	

* このほか、必要に応じて教育委員会臨時会及び研修会を実施します。

資 料

1	教育委員会組織図及び各課の分掌事務	P29
2	教育委員会事務局 職員一覧	P30
3	教育委員会の附属機関等	P31
4	教育関係各種団体	P36
5	指定文化財一覧	P38
6	教育の沿革	P39
7	統計データ	P45
(1)	小中学校施設の概況	
(2)	児童生徒数の推移	
(3)	各学校統合年の一覧	
(4)	就学援助の状況	
(5)	特別支援教育就学奨励費の状況	
(6)	特別支援学級等通学援助費の状況	
(7)	社会教育施設利用状況	

➤ 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



【学校教育課】

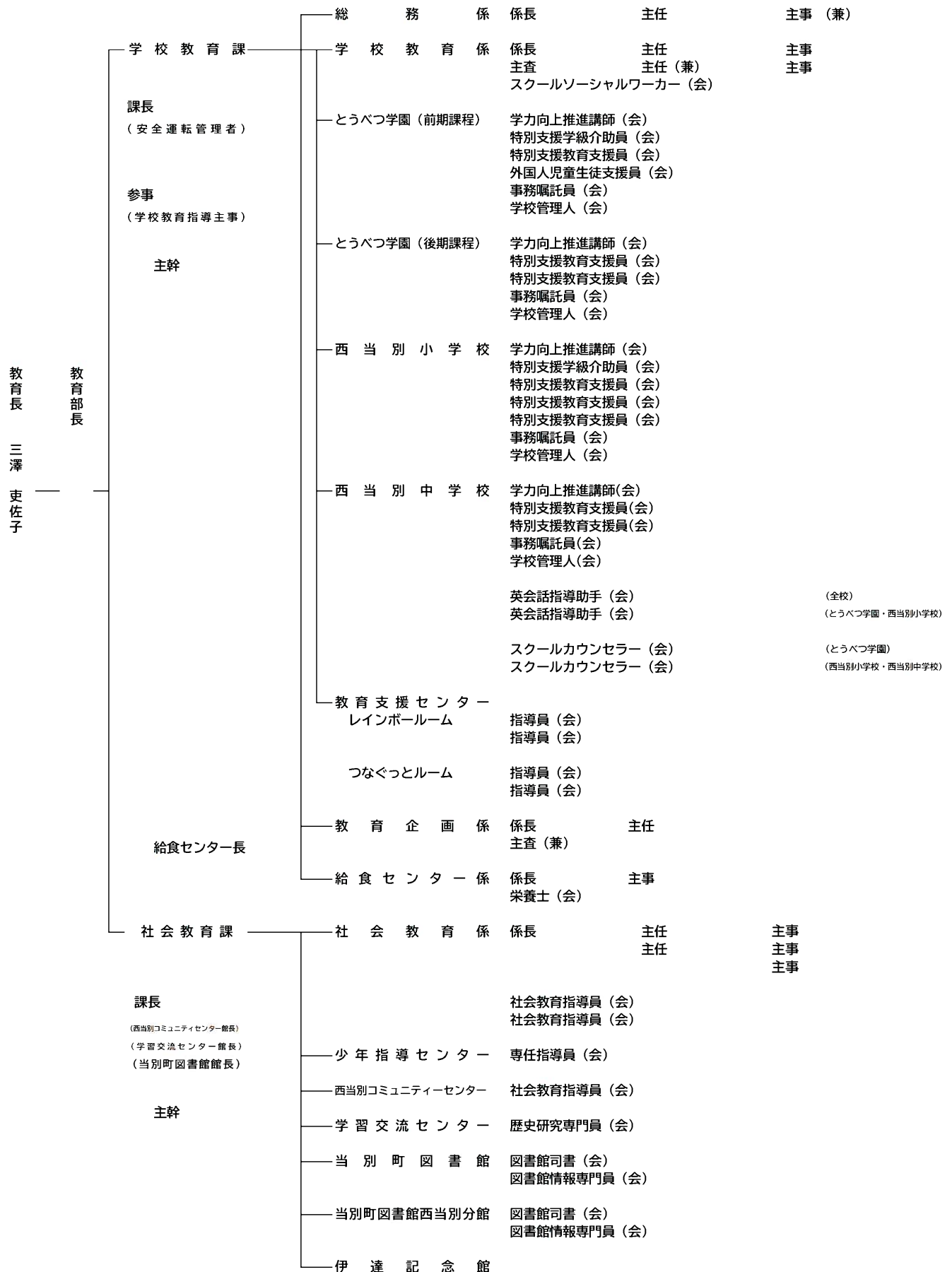
- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

➤ 2 教育委員会事務局 職員一覧

(令和6年5月1日現在)



合計 62名

注：職名 (会) ～会計年度任用職員

➤ 3 教育委員会の附属機関等

各委員：令和6年6月1日現在

(1) 当別町教育支援委員会（附属機関）

教育支援委員会委員				
氏 名		選任区分		所 属
前 田 史 郎	第1号委員	医師		とうべつ内科クリニック
吉 村 公 孝	第2号委員	学識経験者		当別町立とうべつ学園
森 聡	第3号委員	特別支援学級設置校校長		当別町立西当別中学校
千 田 冬 威	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
小 倉 陽 介	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
山 本 拓 哉	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
畠 山 謙	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
永 間 尊 史	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
石 本 美奈子	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校
永 井 康 義	第4号委員	特別支援教育担当教諭		北海道拓北養護学校
長谷川 恵 子	第5号委員	児童福祉関係職員		当別町福祉部保健福祉課
五十嵐 京 湖	第5号委員	児童福祉関係職員		認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	第5号委員	児童福祉関係職員		認定こども園当別夢の国幼稚園
大 溝 綾 乃	第5号委員	児童福祉関係職員		当別町子ども発達支援センター
教育支援委員会専門委員				
千 田 冬 威		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
小 倉 陽 介		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
山 本 拓 哉		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
畠 山 謙		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
永 間 尊 史		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
石 本 美奈子		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校
大 溝 綾 乃		児童福祉関係職員		当別町子ども発達支援センター

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員			
氏 名		選任区分	所 属
永 井 康 義		特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
千 田 冬 威		特別支援学級設置校教職員	当別町立とうべつ学園
三 浦 ゆかり		特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校

特別支援教育専門家委員			
氏 名		選任区分	所 属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、 小児科等の医師	北海道医療大学
菅 原 博 子	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
齊 藤 真 善	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会（附属機関）

氏 名	分 野	職能区分	所 属
山 谷 敬三郎	教 育	生涯学習	北翔大学
縄 野 歩	法 律	弁護士	札幌弁護士会
濱 本 琢	医 療	精神科医	江別すずらん病院
富 家 直 明	心 理	臨床心理士	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福 間 麻 紀	福 祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 令和6年5月1日～令和8年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）				
学校名	内 科 医		耳 鼻 科 医	眼 科 医
とうべつ学園 （前期課程）	1～3年	前 田 史 郎	佐 伯 昌 彦	小 林 和 夫
	4～6年	古明地 克 英		
西当別小学校	全 学 年	藤 田 朋 紀	東 山 佳 澄	
とうべつ学園 （後期課程）	全 学 年	澤 崎 兵 庫	佐 伯 昌 彦	
西当別中学校	全 学 年	朴 昶 勲	東 山 佳 澄	

学校歯科医・学校薬剤師			
学校名	歯 科 医		薬 剤 師
とうべつ学園 （前期課程）	1～4年	齊 藤 正 人	片 岡 芳 仁
	5 年	田 西 和 伸	
	6 年	黒 澤 遠 奈	
西当別小学校	1～2年	相 良 昌 宏	※調整中
	3～6年	三 浦 宏 子	
とうべつ学園 （後期課程）	全 学 年	飯 嶋 雅 弘	片 岡 芳 仁
西当別中学校	1～2年	秀 誠 司	※調整中
	3 年	相 良 昌 宏	

[任期] 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
委 員 長	森 聰	教職員
副委員長	瀬 野 裕 子	教職員
委 員	佐 藤 純 代	教職員
委 員	上 田 常 裕	教職員
委 員	津 崎 弘 樹	保護者
委 員	中 田 綾 子	保護者
委 員	小 林 彩 華	保護者
委 員	※調整中	学識経験者
委 員	島 田 恭 子	学識経験者
委 員	館 柳 律 子	学識経験者

[任期] 令和5年12月22日～令和7年12月21日

(6) 当別町学校運営協議会（附属機関）

氏 名	区 分		備 考
【 当 別 地 区 】			
松 岡 宏 尚	第1号委員	地域住民	委員長
長谷部 直 樹	第1号委員	地域住民	副委員長
難 波 雅 美	第1号委員	地域住民	
小田島 正 高	第1号委員	地域住民	
津 崎 弘 樹	第1号委員	地域住民	
山 田 直 也	第1号委員	地域住民	
鰐 渕 真太郎	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
並 川 憲 多	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
大 石 和 彦	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
小 松 芳 幸	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
米 陀 和 成	第4号委員	その他必要と認めるもの	郵便局長
【 西 当 別 地 区 】			
山 田 佳 秀	第1号委員	地域住民	委員長
佐々木 健 児	第1号委員	地域住民	副委員長
大 坪 圭 子	第1号委員	地域住民	
小 貫 幸 恵	第1号委員	地域住民	
曾 川 昭 治	第1号委員	地域住民	
佐々木 彦 治	第1号委員	地域住民	
柳 田 隆	第1号委員	地域住民	
吉 野 裕 宜	第1号委員	地域住民	
石 田 秀 人	第1号委員	地域住民	
勝 山 義 彰	第1号委員	地域住民	
岸 本 進 嗣	第2号委員	保護者	西当別小学校PTA
中 田 綾 子	第2号委員	保護者	西当別中学校PTA
若 命 泰 寛	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
瀬 野 裕 子	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校教頭
吉 川 広 樹	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教頭
岩 崎 晋 也	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校主幹教諭
木 瀬 尚 貴	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教諭

[任期] 令和6年4月1日～令和7年4月30日

(7) 当別町文化財調査審議会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
会 長	鎌 田 望	学識経験者
副会長	梅 枝 正 春	学識経験者
委 員	倉 田 守	学識経験者
委 員	渡 部 泰 夫	学識経験者
委 員	大 口 弘 美	学識経験者

[任期] 令和5年12月20日～令和7年12月19日

(8) 当別町社会教育委員会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
委員長	浜 上 尚 也	学識経験者
副委員長	吉 村 公 孝	学校教育関係者
委 員	近 藤 留 美	社会教育関係者
委 員	曾 川 昭 治	社会教育関係者
委 員	伊 藤 美穂子	社会教育関係者
委 員	岡 隆 太	社会教育関係者
委 員	佐 藤 太一郎	家庭教育活動者
委 員	中 田 綾 子	家庭教育活動者
委 員	川 合 秋 夫	学識経験者

[任期] 令和5年4月24日～令和7年4月23日

(9) 当別町地域学校協働本部運営委員会

職 名	氏 名	選任区分
委員長	浜 上 尚 也	学識経験者
副委員長	吉 村 公 孝	学校教育関係者
委 員	近 藤 留 美	社会教育関係者
委 員	曾 川 昭 治	社会教育関係者
委 員	伊 藤 美穂子	社会教育関係者
委 員	岡 隆 太	社会教育関係者
委 員	佐 藤 太一郎	家庭教育活動者
委 員	中 田 綾 子	家庭教育活動者
委 員	川 合 秋 夫	学識経験者

[任期] 令和6年4月24日～令和7年4月23日

(10) 当別町子ども読書活動推進委員会

職 名	氏 名	所 属
委員長	渡 部 泰 夫	学識経験者
副委員長	金 木 雅 美	当別町福祉部子ども未来課
委 員	寺 田 美由紀	認定こども園おとぎのくに
委 員	加 藤 裕 弓	認定こども園当別夢の国幼稚園
委 員	佐久間 杏 佳	とうべつ学園
委 員	弥勒院 瑞 枝	西当別小学校
委 員	小 柳 華奈子	西当別中学校
委 員	富士本 亜希子	とうべつ学園よみきかせ隊

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(11) 当別町スポーツ推進委員（附属機関）

職 名	氏 名	分担事項
委員長	浜 上 尚 也	スキー、サイクリング
副委員長	伊 藤 美穂子	水泳、テニス、水泳指導者
委 員	野 口 和 之	ゴルフ、パークゴルフ
委 員	石 澤 ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール
委 員	日 光 正 博	スキー、パークゴルフ、バレーボール
委 員	中 多 美 幸	ミニバレー
委 員	柴 木 龍 也	サッカー、軽スポーツ
委 員	菅 野 敬 正	陸上、トライアスロン
委 員	須 藤 豪	サッカー
委 員	武 田 雅 子	バドミントン、陸上
委 員	新 井 和 也	サッカー、スキー
委 員	池 田 友 洋	ボッチャ、フライングディスク

委員	藤田 和 宏	野球、銃剣道
委員	瀬戸 綾 乃	バスケットボール、ソフトボール
委員	阿部 奈 々	カーリング

[任期] 令和6年5月1日～令和8年4月30日

(12) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏 名	関係機関・団体
須藤 政 信	当別町民生児童委員協議会
石澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
中田 綾 子	当別町PTA連合会
佐藤 太一郎	当別町子ども会育成連合会

[任期] 令和6年5月26日～令和7年5月25日

少年指導委員	
氏 名	関係機関・団体
【 当 別 地 区 】	
島田 洋 輔	とうべつ学園
本間 哲 善	とうべつ学園
藤森 敬 貴	北海道当別高等学校
鰐 淵 亜紀子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
後藤 尚 範	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
棒 田 克 幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
須藤 政 信	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
石澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岩 淵 博 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
長谷川 廣 美	当別町民生児童委員協議会
戸 来 興 貴	とうべつ学園PTA
【 太美（西当別）地区 】	
小林 宏 太	西当別小学校
吉 川 広 樹	西当別中学校
山 田 論	当別町民生児童委員協議会
鈴木 章 造	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
宮本 勝 則	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
川 嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
中村 映 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
川 田 誠 二	西当別小学校PTA
中 川 孝 生	西当別中学校PTA

[任期] 令和5年5月26日～令和7年5月25日

➤ 4 教育関係各種団体

(1) 当別町文化協会 加盟団体

令和6年6月1日現在

区 分	団 体 名
民謡	當香会 民謡の部
詩吟	日本詩吟学院岳風会 太美道場
琴	大正琴さくら 琴の会
舞踊	西川流 日本舞踊教室 延菊会
	正派菊乃流 菊の会 当別
	ひょっとこ踊り 玉福
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ
	子どもの為のジャズダンスサークル SKIP
	ダンスグループDDD
	アロハフラーズ
	花舞
	ハーウ・フラ・オ・モハラプア・マイル
音楽	当別町カラオケ連合会
	太美カラオケ愛好会
	東裏カラオケ愛好会
	當香会 カラオケの部
	当別クローバーの会
	レディース・ハーモニー
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ
	音遊び工房ふとみボーカル・グループ
	OJB
	バンド「ふとみ愉快的仲間たち」
	エーデルワイス
郷土芸能	当別音頭を守る会
	とべのすけ すずめ踊り隊
茶華道	当別華道連盟
	当別裏千家茶道同好会
	西当別茶道教室
書道絵画	西当書道会
	太美書道教室
生活文化	当別写真同好会
	スエタ手芸教室
	クレイ.クラフト.フラワー
	ぽかゆるたいむ
	太美ヨガサークル
	日本棋院当別支部
	パッチワークオンリーワン
文芸	当別短歌会
合計 38 団体	

(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体

令和6年6月1日現在

協会・連盟名	
陸上競技協会	スキー連盟
軟式野球連盟	サッカー連盟
バレーボール協会	相撲国技会
弓道連盟	ソフトボール協会
卓球協会	テニス協会
バスケットボール協会	バウンドテニス協会
剣道連盟	ミニバレー協会
柔道連盟	パークゴルフ協会
合計 16 団体	

(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

令和6年6月1日現在

地区名
白樺町
北栄町
アウル
西町
元町
緑町
春日町
太美北
太美南
当別太ビトエ川下
虹の子
スウェーデンヒルズ
スターライト
合計 13 地区

(4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

令和6年6月1日現在

所 属
生活改善実践グループ
当別音頭を守る会
合計 2 団体

➤ 5 指定文化財一覧

令和6年5月1日現在

指 定 番 号	品 名	種 別	指定・登録 年月日	所 在 場 所	摘 要
1	伊達綱宗画筆対三幅	有形文化財	S50.7.5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗（寛永17（1640）年生～正徳元（1711）年没）が、66才の時（宝永2（1705）年）画いたもので伊達正人が明治25（1892）年三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたもの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鷺鷥 【縦214cm 横60.5cm】
2	打掛（紫色）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め（1704年～1707年）冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたもの。
3	振袖（赤色）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間（1716年～1725年推定）冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緞公へ御入嫁の際お持ちしたもの。
4	打掛（白色）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家5代村緞公（宝永4（1707）年生～寛永元（1748）年没）が着用したもの。 （長ばかまは近衛家より拝領品）
6	のしめ（室内着）及び帯	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家9代義監公（文化6（1809）年生～）が着用したもの。
7	陣羽織	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家10代邦直公（天保5（1834）年生～明治24（1891）年没）が着用したもの。
8	火事装束	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
9	子供用綿入れ（2組）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家11代基理公（文久2（1862）年生～）が着用したもの。 （慶応、明治初期1825～1872年）
10	子供用単衣	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
11	当別開拓の図	有形文化財	S50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。 （岩出山出身 正蘭氏筆） 【縦68cm 横110.5cm】
12	伊達邸別館	有形文化財	S51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45（1970）年、当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。
14	トウバツアカマツセイウチ化石	有形文化財	R4.2.16	札幌市 北海道大学総合博物館	絶滅した初期のセイウチ科の化石で、時代は中新世後期で約1,000～950万年前。昭和52（1977）年に当別川流域で発見された。この時代のセイウチ科の化石は記録が少なく、セイウチ科の進化の空白を埋める貴重な標本である。

➤ 6 教育の沿革

年 号	で き ご と
明治5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改正
24年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
25年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当）（明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
26年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
29年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
32年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
33年	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする（明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
34年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
35年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
36年	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
37年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
38年	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
39年	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
40年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
41年	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
42年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
43年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置（14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
44年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
45年	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
46年	・二級町村から一級町村へ昇格
47年	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる（明治42年には高等科は3年制に変更）
48年	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
49年	・二股小学校が二股教育所として創立
50年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
51年	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
52年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
53年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
54年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
55年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
56年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
57年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
58年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
59年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
60年	・札沼線当別―札幌間開通
61年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
62年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
63年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱）
64年	・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
65年	・当別村から当別町へ昇格（町制施行）
66年	・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される
67年	・四番川小学校が全焼、新校舎落成
68年	・当別中学校が当別小学校に併置され創立
69年	・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立
70年	・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立

年 号	で き ご と
昭和22年	・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	・ 第1回当別町成人式挙行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	・ 当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	・ 町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・ 当別町青少年問題協議会発足 ・ 当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き）
40年	・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙げ、弓道の道場として活用）
41年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・ 当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴静江奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足20周年記念式典挙行
43年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44年	・ 当別中学校を現在の下川町125番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） ・ 当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45年	・ 開基100年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） ・ 当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） ・ 当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等） ・ 当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡）
46年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） ・ 当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m） ・ 当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡）
47年	・ 当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） ・ 当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48年	・ 四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合
49年	・ 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） ・ 当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50年	・ 青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 ・ 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） ・ 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年校名を北海道医療大学に変更）
51年	・ 当別町社会教育指導員設置

年 号	で き ご と
昭和52年	- 当別町中学校発足30周年記念式典挙行 - 当別町第2プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付） - 当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡） - 当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室） - 青山中央小中学校新校舎完成
53年	- 当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室） - 中小屋中学校新校舎完成
54年	- 当別町体育協会創立20周年記念式典挙行 - 当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m） - 当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡） - 当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）
56年	- 当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m） - 当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）
57年	- 当別ロータリークラブ奨学金制度発足 - 当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m） - 当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡） - 当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示） - 伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）
59年	- 当別町教育奨励賞制定 - 当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330㎡）
60年	当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）
62年	当別町スポーツ賞制定
63年	当別小学校に「ことばの教室」開級（1学級認可）
平成元年	- 金沢小学校を閉校し当別小学校に統合 - 当別町総合体育館完成（総工事費12億9,000万円・敷地面積10,802㎡・建物面積4,287.94㎡・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム） - 当別町体育協会創立30周年記念式典挙行
2年	当別町きららパークゴルフ場完成（8ホール、平成3年4ホール増設）
3年	- 当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合 - 当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員2名配置） - 当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園
4年	- 当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積910.8㎡・鉄骨及び膜構造・2面） - 当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費2億3,460万円・建物面積1,103㎡・規模：一般用25m×17m、低学年用 他） - 学校週5日制スタート
5年	当別町学校体育施設開放事業開始
6年	- 当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場） - 当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）
7年	- 当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋コンクリート・鉄骨造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始） - 少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8年	中小屋小学校が火災により焼失
9年	- 西当別コミュニティーセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室） - 当別町中学校開校50周年記念式開催
10年	中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）
11年	- 当別町生涯学習推進計画策定 - 当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）
12年	- 青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始） - 当別町青山中央プール廃止
13年	- 当別町適応指導教室設置 - 学校評議員制度開始 - 当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14年	- 当別町子ども議会開催 - 当別町歴史ボランティア設置

年 号	で き ご と
平成15年	・文部科学省モデル地域事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度） ・伴静江奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第2プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16年	・川下小学校を閉校し当別小学校に統合 ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第2次生涯学習推進計画策定
17年	・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町文化賞制定
18年	・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園） ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中） ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始
19年	・当別町弁華別プール廃止 ・蔵岱小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設 ・当別町公民館及び開拓郷土館廃止 ・当別町特別支援教育推進サポート組織設置 ・「子どもの健全育成サポートシステム」開始
20年	・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足 ・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始 ・当別町学校支援地域本部事業開始
21年	・当別町総合体育館アリーナ床補修工事 ・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行 ・第3次当別町生涯学習推進計画策定 ・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事 ・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行 ・当別小学校水泳プール改修工事
22年	・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立 ・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定 ・当別町140年記念式典及び記念諸行事開催 ・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事 ・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
23年	・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体 ・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園 ・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転 ・当別町家庭教育の手引き発刊
24年	・当別小学校体育館落成(工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下) ・栄町教職員住宅解体工事 ・当別町立小・中学校で2学期制を導入 ・当別プレイハウスが当別小学校内に移転

年 号	で き ご と
平成24年	・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕 ・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧
25年	・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定 ・西当別中学校教員住宅解体 ・当別小学校北校舎トイレ改修工事 ・当別中学校トイレ改修工事 ・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事 ・西当別中学校給水設備改修工事
26年	・第4次当別町生涯学習推進計画策定 ・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設 ・土曜学習会の開始 ・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転 ・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修
27年	・当別町いじめ防止基本方針策定 ・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定 ・当別町子ども発達支援センター完成 ・当別町子どもの読書活動推進計画（第2次計画）策定 ・家読の日を制定（毎月23日） ・町内各小学校のフッ化物洗口事業を1年生から6年生まで実施 ・放課後学習会の開始 ・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成27～29年度）
28年	・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合 ・弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入 ・教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管 ・教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設 ・当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置 ・各中学校へデジタル教科書導入（国、数、理、社、英） ・町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
29年	・西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸） ・銜鋼管工業から120万円の目的寄付があり、西当別中学校のバスケットボードを改修 ・中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校） ・当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置 ・当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足 ・「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞 ・西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根） ・各小学校の3～6年生へデジタル教科書導入（国語、算数）
30年	・教育委員会管理課を学校教育課に改称 ・西当別小学校屋内体育館屋根改修工事（工事費19,762千円、設計費4,644千円） ・当別町一体型義務教育学校基本設計（37,962千円） ・小学校外国語授業完全実施（新学習指導要領対応） ・ICT機器（電子黒板、書画カメラ等）全校全学級へ配置完了
令和元年	・当別町一体型義務教育学校地質調査業務委託（15,660千円） ・当別町一体型義務教育学校測量業務委託（5,886千円） ・西当別小学校屋内体育館改修工事（33,761千円） ・町立ふとみ保育所を廃止し、社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園おとぎのくにを開園 ・教育委員会社会教育課文化財・町史編纂係が文化財保護係に改称 ・当別町義務教育学校開校準備委員会及び教育課程編成委員会設置 ・当別町一体型義務教育学校実施設計（128,700千円）
2年	・当別町図書館及び西当別分館設置 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（建設・電気・機械）（4,684,900千円） ・当別町一体型義務教育学校建設工事監理業務委託（77,000千円） ・当別町一体型義務教育学校建設損失補償調査業務委託（5,236千円） ・西当別中学校校舎屋上防水工事（12,650千円） ・当別町教育系ネットワークシステム端末購入（65,098千円） ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（50,930千円） ・当別町教育系ネットワークシステム端末付属品購入（6,826千円） ・校務系ネットワークシステム構築業務委託（69,300千円） ・家庭用モバイルルーター購入（2,176千円） ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（その2）（354,000千円） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国で一斉臨時休業（3～5月）

年 号	で き ご と
令和3年	・学習用情報機器貸出、家庭学習用通信機器貸出開始 ・学校給食費の公会計化 ・北海道C L A S Sプロジェクト（地学協働活動推進実証事業）実施（～令和5年度） ・保育支援者配置補助事業の実施 ・子育て短期支援事業（ショートステイ事業）実施 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（外構工事）（136,950千円）
4年	・とうべつ学園備品購入（校用 45,353千円、教材 19,923千円）、既存備品移送運搬・備付（4,070千円） ・「トウベツアカマツセイウチ化石」の当別町有形文化財指定 ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」完成（2月） ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」引き渡し（3月） ・当別小学校、当別中学校統合による閉校（3月） ・義務教育学校「とうべつ学園」開校（4月） ・子どもプレイハウス民間委託開始 ・「学びのハンドブック」を保護者に配布（4月） ・鈴木直道北海道知事がとうべつ学園を訪問（4月） ・とうべつ学園見学会開催（6月） ・当別町一体型義務教育学校建設工事（グラウンド整備）（190,872千円） ・当別中学校解体工事（511,500千円） ・当別町総合体育館屋上防水改修工事（126,500千円） ・とうべつ学園開校記念式典（11月）
5年	・成人年齢引き下げに伴い、成人式を「はたちのつどい」と改称して開催 ・教育委員会学校教育課一貫教育係が教育企画係に改称 ・特別給食「とべっこランチ」提供開始 ・とうべつ学園内に校内適応指導教室を設置 ・「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、「デジタル教育推進事業」を実施（A Iドリルの導入、電子黒板の導入、児童生徒向けプログラミング教室の実施、情報モラル教育の実施、I C T支援員の派遣） ・倉本博史北海道教育委員会教育長がとうべつ学園を訪問（5月） ・町立学校と岩出山小学校・岩出山中学校が姉妹校締結（6月） ・当別町一体型義務教育学校建設工事業損失調査業務委託（11,440千円） ・西当別中学校屋内体育館外壁改修工事（1,540千円）

➤ 7 統計データ

(1) 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	武道場 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
西当別小学校	R C	4,381	702		15,789	昭和 57 年	昭和 58 年
西当別中学校	R C	3,869	678		28,749	昭和 55 年	昭和 54 年
とうべつ学園	R C	9,361	2,293	428	43,310	令和 4 年	令和 4 年

※R C：鉄筋コンクリート造

(2) 児童生徒数の推移

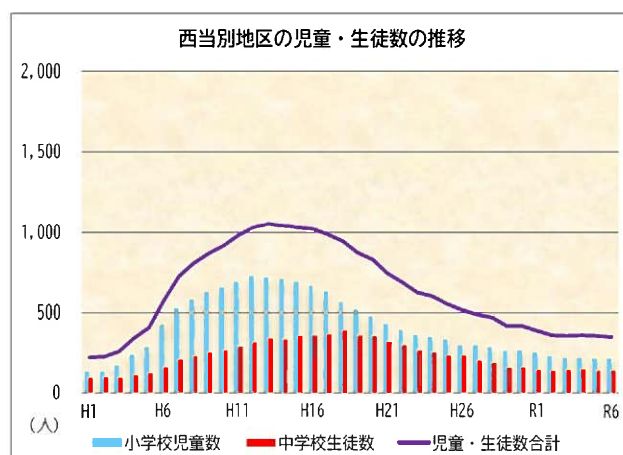
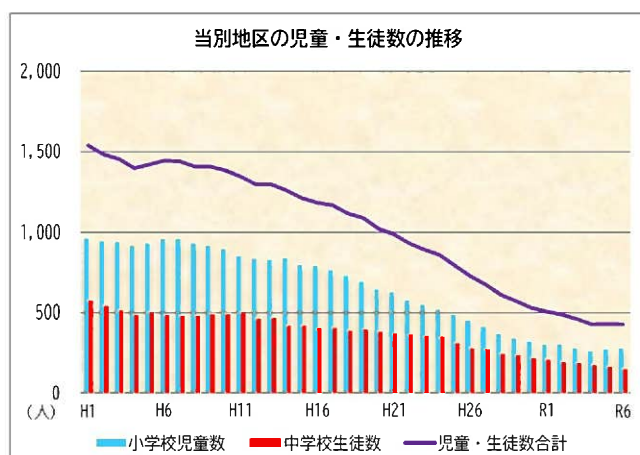
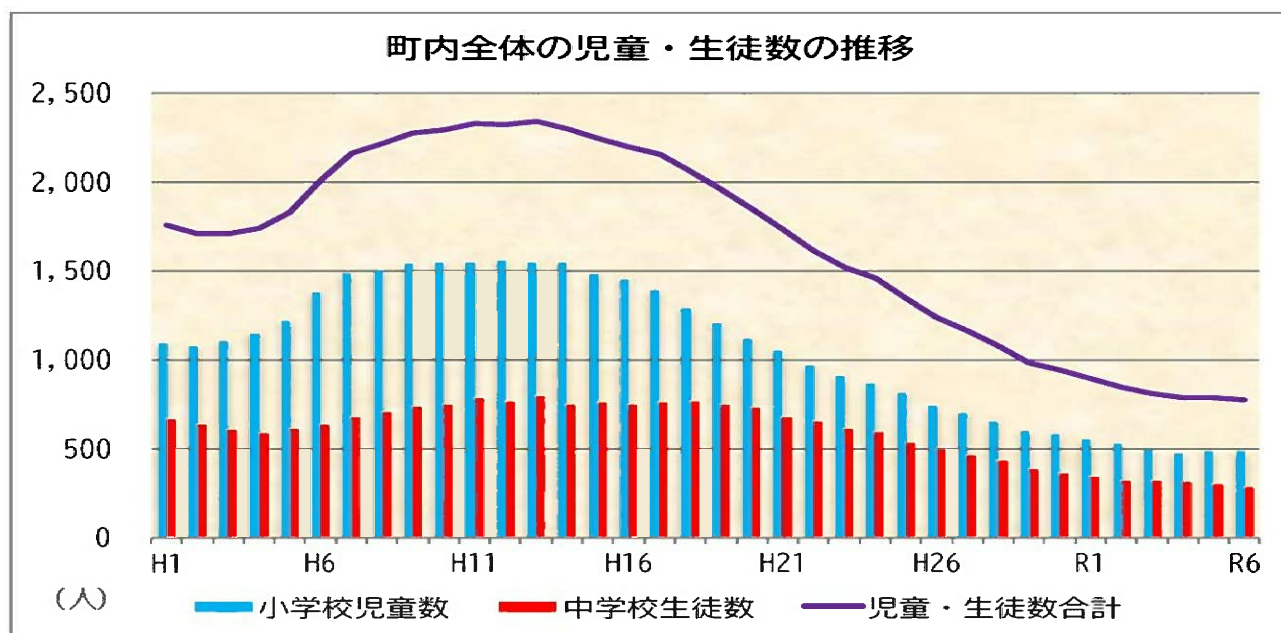
◆ 小学校児童数

年度	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
R 2	68	73	83	81	106	115	526
3	78	67	73	87	82	105	492
4	82	77	70	77	87	81	474
5	77	85	81	73	81	90	487
6	79	80	92	82	77	79	489

◆ 中学校生徒数

年度	1 年	2 年	3 年	計
R 2	96	114	110	320
3	112	93	115	320
4	106	113	93	312
5	79	107	113	299
6	95	85	106	286

各年 5 月 1 日現在（単位：人）



(3) 各学校統合年の一覧

◆ 小学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 小 学 校	西当別小	S26	
	太 美 小	M29	S26
	獅子内小	M33	S26
	当別高岡小	M34	H3

◆ 中学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 中 学 校	西当別中	S22	
	当別高岡中	S25	S43

◆ 義務教育学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
当 別 小	M 6		
東 裏 小	M35		H20
蕨 岱 小	M44		H19
中小屋小	M33		H18
川 下 小	M37		H16
金 沢 小	M32		H1
材木沢小 (分校)	T 4	S40	
弁華別小	M25		H28
青 山 小	M34	S50	
青山中央小	M34		H12
二 股 小	M41	S50	
四番川小	M42	S48	
三番川小	M42	S46	
当 別 中	S22		
中小屋中	S22		H17
弁華別中	S22		H28
青山中央中	S22		H12
二 股 中	S28	S48	
三番川中	S28	S46	
四番川中	S22	S42	

R4
とうべつ学園

(4) 就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新小学校 1年生	11 595	9 486	5 271
小学校	55 4,552	79 5,972	59 5,311
新中学校 1年生	8 504	19 1,140	14 882
中学校	42 5,525	50 5,560	50 5,877
計	11,176	13,159	12,341

* 平成29年度から翌年度の新小学校・新中学校1年生に新入学準備金を支給。

(5) 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	10 391	9 350	9 323
中学校	2 156	1 42	6 304
計	12 547	10 393	15 627

(6) 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分 \ 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	56 310	50 282	42 239
中学校	8 48	6 36	13 76
計	64 358	56 318	55 315

(7) 社会教育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室1	和室2・3	計	
R3	件数	132	17	454	158	84	7	852
	人数	1,134	132	5,241	1,460	451	34	8,452
R4	件数	169	8	546	183	147	43	1,096
	人数	1,533	109	5,486	2,276	755	408	10,567
R5	件数	195	15	629	175	149	43	1,206
	人数	1,993	168	7,636	2,319	778	245	13,139

西当別コミュニティセンター

年度\区分		アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	計
R 3	件数	399	215	103	78	1	122	918
	人数	6,229	4,032	884	1,140	5	712	13,002
R 4	件数	1,035	340	193	156	14	229	1,967
	人数	14,442	6,521	1,887	2,144	215	1,252	26,461
R 5	件数	874	380	248	125	22	219	1,868
	人数	12,200	7,296	2,182	1,664	170	1,191	24,703

当別町図書館

年度	貸出実績（冊）			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R 3	7,641	7,521	15,162	2,742	478	3,220	11,357	8,362	19,719
R 4	11,231	10,463	21,694	3,798	636	4,434	11,839	8,613	20,452
R 5	11,144	7,517	18,661	4,292	440	4,732	12,524	8,986	21,510

当別町図書館西当別分館

年度	貸出実績（冊）			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R 3	6,611	5,294	11,905	2,192	381	2,573	9,310	8,475	17,785
R 4	9,522	9,729	19,251	3,674	491	4,165	9,319	7,949	17,268
R 5	8,773	8,460	17,233	3,772	544	4,316	9,444	8,230	17,674

世紀会館

年度\区分	洋室	集会室A	集会室B	和室	計	
R 3	件数	17	61	61	0	139
	人数	85	340	339	0	764
R 4	件数	32	103	56	1	192
	人数	162	720	345	5	1,232
R 5	件数	15	119	70	0	204
	人数	85	832	455	0	1,372

当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
R 3	450
R 4	1,263
R 5	1,229

当別町総合体育館

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
R 3	件数	416	223	101		740
	人数	17,590	1,604	797	3,776	1,285
R 4	件数	929	212	197		1,338
	人数	30,093	3,441	1,670	6,159	2,317
R 5	件数	873	260	222		1,355
	人数	31,191	5,001	1,921	8,871	3,132

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

令和6年度
当別町の教育

令和6年7月発行
編集・発行：当別町教育委員会



未来を拓く9年間



当別町小中一貫教育